

## 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	社会教育団体活動促進事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	1	
財務会計上の事業名	社会教育団体活動促進事業	財務会計上の短縮番号	6535		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

### 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	社会教育関係団体加盟者並びに市民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	市民が主体となって活動する社会教育関係団体の学習や交流活動を奨励する
事業の目的 【どのような結果を得るか】	社会教育の振興が促進される
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	社会教育関係団体の報償金削減(一律5%減)並びに新規「伝統芸能振興」の予算措置
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	社会教育法第11条

### 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	1,215		1,221		1,140		1,190		93.8%	
人件費(人・千円)	0.23	1,660	0.18	1,221	0.40	2,205	0.25	1,950	222.2%	
事業 内 訳	正職員	0.20	1,600	0.15	1,170	0.25	1,950	0.25	1,950	166.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.03	60	0.03	51	0.15	255		0	500.0%
支出合計 A	2,875		2,436		3,345		3,140		137.3%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,875		2,436		3,345		3,140		137.3%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	交流事業(演奏会等)の開催	件	6	6	6	7	7
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

### 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	音楽連盟の音楽会について、出演団体も他の団体の演奏を会場で聴き、アンケートにその演奏の評価を行うことにより、相互の技術向上が図れるように改善。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	団体の自主的な活動の支援であり、アウトソーシングはなじまない。

### 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
若者の生活環境が大きく変化し、伝統芸能に親しむ機会も減少している。そうした中で、団体の長期的なビジョンにたち、次代の担い手を育むため若者に伝統芸能に接する機会を設けるなどの施策も検討すべきであるが、前年度の事業を踏襲しているのが現状。これから、伝統芸能をもっと身近なものにする、或いは活動内容を広めるなどの改革が必要。	社会情勢の変化により、団体に応じた役割や機能の多様化が更に進むと考えられるが、ほとんどの団体は前年度の事業を踏襲している状況である。それらを改善するためのコーディネーター(職員やボランティア)の育成と確保を併せて進めていくことが急務である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	社会教育施設管理事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	2	
財務会計上の事業名	社会教育施設管理事業	財務会計上の短縮番号	6543		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	社会教育施設
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	社会教育施設の不具合箇所の修繕
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市民が快適で有効に活用できるように管理する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	社会教育法第3条、第5条

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	3,613		3,637		3,465		6,031		95.3%
人件費(人・千円)	0.03	240	0.02	156	0.04	251	0.04	312	200.0%	
事業 内 訳	正職員	0.03	240	0.02	156	0.03	234	0.04	312	150.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.01	17		0	-
支出合計 A	3,853		3,793		3,716		6,343		98.0%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	3,853		3,793		3,716		6,343		98.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	修繕箇所	件	9	8	7	5	5
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	施設の老朽化が進行し、修繕箇所が減らない

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	一部の小規模修繕は指定管理者で対応している。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
老朽化が著しいため、常に不具合箇所のチェックが必要である。	今後も施設の不具合箇所をチェックしながら対応していく。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	社会教育施設管理工事	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	3	
財務会計上の事業名	社会教育施設管理工事	財務会計上の短縮番号	6540		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象 【誰(何)を】	社会教育施設を				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	不具合箇所等の改修工事を行うことにより施設の管理を適正にする				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市民が社会教育活動を支障なく行うことができる				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入	社会教育法第3条、第4条				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	20,229		9,923		7,665		0		77.2%
人件費(人・千円)	0.03	240	0.02	156	0.04	251	0.04	312	200.0%	
事業 内 訳	正職員	0.03	240	0.02	156	0.03	234	0.04	312	150.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.01	17		0	-
支出合計 A	20,469		10,079		7,916		312		78.5%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	20,469		10,079		7,916		312		78.5%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工事件数	件	4	2	1	0	0
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	施設は老朽化が著しく、各所で不具合が生じているが、予算との関係で優先順位をつけて改修工事を実施している。				
(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	都市建設部施設課に設計依頼をし、入札・発注をしている。この業務をアウトソーシング対象になるかは、当課では判断できない。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
社会教育施設は耐震化がされていない現状を踏まえ、今後の耐震化計画のため耐震診断の着手が急務と考える。	社会教育の施設は老朽化が著しく、優先順位をつけて改修に当たっているが、緊急の不具合が見つかった場合の対応(特に予算)に苦慮している。また、すべての社会教育施設は耐震未実施のため、耐震化計画は急務である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	PTA活動促進事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	4	
財務会計上の事業名	PTA活動促進事業	財務会計上の短縮番号	6570		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	PTA会員
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	PTA協議会が実施する事業(会議、交流会、研修会)に対し、資料の作成や事業運営への助言・補助と大阪府PTA協議会も含めた関係団体との連絡調整などの支援を行う
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市立19学校園のPTA活動を充実させることにより、次世代を担う子どもたちの健全育成と会員活動の活性化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和38年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	社会教育法第11条、社会教育関係団体補助金交付要綱

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	189		149		98		126		65.8%
人件費(人・千円)	0.33	2,220	0.33	2,147	0.48	2,280	0.48	3,744	145.5%	
事業 内 訳	正職員	0.26	2,080	0.26	2,028	0.24	1,872	0.48	3,744	92.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.07	140	0.07	119	0.24	408		0	342.9%
支 出 合 計 A	2,409		2,296		2,378		3,870		103.6%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,409		2,296		2,378		3,870	103.6%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	スポーツ交流会等行事の開催回数	回	9	9	9	9	9
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	会員数	人	8247	8168	8023	8100	8100
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	スポーツ交流だけでなく、中学校区ごと、あるいは市PTA全体の課題共有と解決に関する事業が必要

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	PTA自身の自分たちのために活動することであるから

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
小中連携本格実施を迎え、各小中学校PTAはより緊密に情報共有・連携を図っていく必要があるため、中学校区あるいは市PTA全体で課題共有と解決に関する事業を実施していかなければならないと考える。	小中一貫や小中一体化教育の導入により、中学校区の連携がより重要になってくる。それに対する本事業の見直しが必要である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名 女性団体活動促進事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	5	
	財務会計上の事業名 女性団体活動促進事業	財務会計上の短縮番号	6580		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の対象【誰(何)を】	市内婦人団体会員、市民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	女性の資質や能力の向上を図るとともに、行政に女性の意見を反映する役割を担い、地域づくりの核となる女性の社会参加を促進する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	単位婦人会相互の親睦を深め、婦人の地位向上、地域社会の連帯、福祉の増進を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和33年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法第11条

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
事業 コスト 等	事業費(千円)	30		30		30		30		100.0%	
	人件費(人・千円)	0.33	2,220	0.33	2,147	0.33	1,964	0.23	1,794	100.0%	
	内 訳	正職員	0.26	2,080	0.26	2,028	0.23	1,794	0.23	1,794	88.5%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト	0.07	140	0.07	119	0.10	170		0	142.9%
	支出合計 A		2,250		2,177		1,994		1,824		91.6%
	財 源	国・府支出金									-
		受益者負担 B									-
その他財源										-	
一般財源			2,250		2,177		1,994		1,824	91.6%	
受益者負担率 B÷A										-	

指標値	区 分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	勉強会・清掃活動への参加人数	人	2959	3000	2848	3000	3000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市主催行事への参加人数	人	400	400	400	400	400
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	勉強会・清掃活動の回数	回	118	118	118	118	118
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市主催行事への参加件数	件	20	21	21	21	21

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	勉強室について、前年と同じ講師にこだわらず参加者のアンケートをもとに講師・講座内容を決定。

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	活動に対する行政としての支援業務を行っているため、アウトソーシングはなじまない

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各婦人団体の高齢化は深刻な問題。新規会員の勧誘など昨年に引き続き勧誘を行っていただくとともに、主婦の勉強についても魅力ある講座の提供が行えるよう支援していく。	今年度の「主婦の勉強室」の参加者増について、会員の意欲は評価できる。しかし、会員の高齢化。会員数の減少は改善されず、各婦人団体に積極的に新規会員の勧誘を行っていただくとともに、婦人会が魅力ある活動を展開できるよう支援する必要がある。

## 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	市吹奏楽団育成事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	6	
財務会計上の事業名	市吹奏楽団育成事業	財務会計上の短縮番号	6590		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

### 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (                      ) <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (                      )
事業の対象 【誰(何)を】	市民・団員
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	団員の演奏技術向上を図りながら、その成果を年2回の定例的な演奏会、猪名川マラソン大会などの市の行事、福祉施設への慰問コンサートなどで発表する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	音楽のまちづくりを推進し、市の音楽文化の発展を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和37年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	社会教育法 第10条~14条

### 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	1,890		2,288		2,089		2,193		91.3%	
人件費(人・千円)	0.24	1,384	0.22	1,228	0.22	1,228	0.22	1,228	100.0%	
事業 内 訳	正職員	0.16	1,248	0.14	1,092	0.14	1,092	0.14	1,092	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.08	136	0.08	136	0.08	136	0.08	136	100.0%
支出合計 A	3,274		3,516		3,317		3,421		94.3%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	3,274		3,516		3,317		3,421		94.3%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	団員数	人	65	65	65	65	65
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	年2回の定期演奏会等の入場者数	人	1300	1300	1300	1300	1500
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市主催行事等への参加件数	件	6	6	8	7	8
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

### 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	例年参加している出初式、定期演奏会、駅前コンサートの他に病院への慰問演奏会等例年以上に演奏会を開いている。団員がほとんど社会人のため、可能な限り団をアピール出来ていると考える。
(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	定期演奏会などの、ポスター、チラシに係る作業は、現在、担当課で対応しているが、団員でも対応できる業務である。

### 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
市の音楽文化の振興施策として、継続的に活動を支援する。今後は、福祉施設や地域イベントでの演奏活動を増やすなど、市の音楽文化の活性化を図る必要がある。	市の音楽文化の振興施策として、継続的に活動を支援する。引き続き、市主催事業や福祉施設や地域イベントでの演奏活動を増やすなど、市の吹奏楽団であることをPRしていくとともに、市の音楽文化の活性化を図っていく。

## 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	野外活動センター管理事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	9	
財務会計上の事業名	野外活動センター管理事業	財務会計上の短縮番号	7050		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

### 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	青少年団体、市民(親子等)
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	自然体験が出来る施設を貸付
事業の目的 【どのような結果を得るか】	青少年の健全育成を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和49 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 22 年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	利用者数少のため、平成22年度より一般への貸し出し休止。
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	教育基本法第12条、社会教育法第3条、第5条

### 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	38		38		38		196		100.0%	
人件費(人・千円)	0.04	190	0.04	312	0.06	224	0.04	190	150.0%	
事業 内 訳	正職員	0.02	156	0.04	312	0.02	156	0.02	156	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.02	34		0	0.04	68	0.02	34	-
支出合計 A	228		350		262		386		74.9%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	228	350			262		386		74.9%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	利用人数	人	0	0	0	0	0
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

### 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	施設の老朽化・衛生面の問題と、近隣からの苦情による利用制限で、平成22年度より一般利用に供していない。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	指定管理制度を行うにしても、抜本的な整備が必要。また、近隣から利用者の騒音に対する苦情もあり、利用に制約がかかる。

### 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
民間による管理運営委託も視野に入れた活用を検討するとともに、利用を再開するにあたってはトイレ改修や施設の老朽化対策が必要である。	民間による管理運営委託も検討すべきと考えるが、トイレ改修や施設の老朽化対策が必要である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	くれは音楽堂管理事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	13	
財務会計上の事業名	くれは音楽堂管理事業	財務会計上の短縮番号	7310		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計    (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計    (    )
事業の対象 【誰(何)を】	市民・利用者団体
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	音楽をはじめ各種文化事業、集会、講演会等、市民へ様々な活動の場を提供する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市民文化の向上(特に音楽の振興)を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続    (平成 20 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限    (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施    (直近) 平成 23年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	管理人体制を職員からシルバー人材センターに変更。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市立くれは音楽堂条例

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	3,528		3,739		3,322		3,535		88.8%	
人件費(人・千円)	0.33	1,049	0.32	971	0.56	1,196	0.51	1,050	175.0%	
事業 内 訳	正職員	0.08	624	0.07	546	0.04	312	0.03	234	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.25	425	0.25	425	0.52	884	0.48	816	208.0%
支出合計 A	4,577		4,710		4,518		4,585		95.9%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	4,577	4,710	4,518	4,585	95.9%				
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用人数	人	21,688	22,751	24,495	24,500	25,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用件数	件	477	469	476	480	500
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	音楽関係の練習、地域の発表会など、地域住民にとって使いやすい施設となってきた。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	貸館業務のため。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
引き続き、利用者の視点に立ったサービスを重視し、効率的・効果的な施設運営を目指す。	現在も、業務のコスト削減を図るため、施設管理と清掃をシルバー人材センターに業務委託しているが、利用者へのサービス低下を招かないよう配慮しながら、効率的・効果的な施設運営を目指す。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 中央公民館	担当課長名	上阪 斉
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	中央公民館管理事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5031	14	
財務会計上の事業名	中央公民館管理事業	財務会計上の短縮番号	6710		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象【誰(何)を】	中央公民館				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	維持管理経費の節減に努める				
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の幅広い要望に対応するため適正かつ有効な管理				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和33年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	建替えによりLED照明を設置しているが、必要に応じて間引き照明を実施及び空調の一元管理を行う				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	公民館条例				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	7,723		6,544		62		15,462		0.9%
人件費(人・千円)	0.85	5,760	0.65	4,040	0.50	3,900	0.70	4,200	76.9%	
内訳	正職員	0.65	5,200	0.45	3,510	0.50	3,900	0.40	3,120	111.1%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360		0	0.30	1,080	0.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10	200	0.10	170		0		0	0.0%
支出合計 A	13,483		10,584		3,962		19,662		37.4%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	13,483		10,584		3,962		19,662		37.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	光熱水費	千円	2,718	1,937	15	5,966	1,800
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	修繕料	千円	336	80	0	170	10
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	照明器具の間引き使用(節電対策)を行う				

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	清掃および警備については委託済み				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
毎月第1火曜日の1日だけが休館日となるため、節電対策等について検討を行う	新公民館の管理運営について、検討を行う

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 中央公民館	担当課長名	上阪 斉
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	中央公民館運営事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5031	14	
財務会計上の事業名	中央公民館運営事業	財務会計上の短縮番号	6715		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象【誰(何)を】	中央公民館				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	運営に必要な消耗品等の整備 施設の利用について広報誌やHPによる効果的なPR				
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の幅広い要望に対応するための適正で有効な運営				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和33年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	社会教育法、公民館条例、公民館条例施行規則				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	557		294		142		388		48.3%
人件費(人・千円)	0.95	6,560	0.75	4,820	0.20	1,140	0.70	4,010	26.7%	
内訳	正職員	0.75	6,000	0.55	4,290	0.10	780	0.40	3,120	18.2%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	360	0.20	720	100.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10	200	0.10	170		0	0.10	170	0.0%
支出合計 A	7,117		5,114		1,282		4,398		25.1%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	7,117		5,114		1,282		4,398		25.1%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	年間利用者数(24年12月~建替工事)	人	100,803	69,773	0	50,000	70,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	利用件数	件	1,324	1,140	0	1,200	1,400
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	新築に伴い料金設定を変更し、半額減免措置を設定したことにより利用状況が判断しにくい。また、年間を通じたクラブ講座をグループ活動に切り替え、新たな公民館講座を実施すると共に休館日を月1回とする。				
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	経費削減に加え公民館運営のノウハウを熟知した団体によるサービスの向上や、民間ならではの事業展開が見込まれるのであれば可能である。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
前年の検討課題を実施し、市民満足度の向上に向けた努力を行う	開館日や開館時間、料金体系等や事業内容を検討し、利用者満足度を向上させる

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 中央公民館	担当課長名	上阪 斉
※第1期実施計画の事業名	文化教養講座事業	※第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5031	15	
財務会計上の事業名	文化教養講座事業	財務会計上の短縮番号	6730		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象【誰(何)を】	市民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	成人、高齢者、家庭教育、親と子どもを対象とした文化教養講座を実施する
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応し、市民一人ひとりの生涯学習の充実を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	年間を通じたクラブ講座をグループ活動とし、庁内連携の情報発信講座等の新たな講座の実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業区分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	250		218		81		600		37.2%
人件費(人・千円)	1.05	5,880	0.85	4,150	0.30	1,920	0.80	4,560	35.3%	
内訳	正職員	0.55	4,400	0.35	2,730	0.20	1,560	0.40	3,120	57.1%
	再任用短時間勤務職員	0.30	1,080	0.30	1,080	0.10	360	0.40	1,440	33.3%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20	400	0.20	340		0		0	0.0%
支出合計 A	6,130		4,368		2,001		5,160		45.8%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	6,130		4,368		2,001		5,160		45.8%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	受講者人数	人	585	544	226	600	800
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	実施回数	回	467	448	9	30	40
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	庁内連携による情報発信講座や初心者向けの5回コース程度の講座を実施する
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	専門的課題の講座等を実施する場合には必要かと思われる

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
市民へ情報発信が出来る講演会等の実施や、市民ニーズの情報収集について検討	新設公民館の役割と講座のあり方を検討し、市民ニーズにあった公民館運営を行う

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 中央公民館	担当課長名	上阪 斉
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5031	16	
財務会計上の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業	財務会計上の短縮番号	6745		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象【誰(何)を】	市民および近隣市町の俳句・短歌愛好家				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市民俳句・短歌大会の開催 チラシ、広報誌、HPによるPRおよび各学校への参加案内				
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の交流、文化意識の高揚 若年層の投句者の増加および作品内容の向上				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和31年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成    年度~平成    年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成20年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	ジュニアの部を創設				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	31		31		31		32		100.0%
人件費(人・千円)	1.05	5,280	0.80	3,150	0.50	2,640	0.80	3,340	62.5%	
内訳	正職員	0.45	3,600	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.30	1,080	0.30	1,080	0.30	1,080	0.40	1,440	100.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.30	600	0.30	510		0	0.20	340	0.0%
支出合計 A	5,311		3,181		2,671		3,372		84.0%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	5,311		3,181		2,671		3,372		84.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	俳句大会開催案内チラシ作成	部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	俳句大会参加者	人	1,753	2,065	1,543	2,000	2,000
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	短歌大会開催案内チラシ作成	部	500	500	中止	500	500
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	短歌大会参加者	人	中止	32	中止	35	35

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	俳句大会のジュニアの部により青少年の情操教育の向上に寄与				

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	選者は池田市俳人連盟に依頼し、実施は公民館行事				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
俳句大会に加えて、短歌大会の充実について検討を行う	俳句大会を通じて、子供から大人までの交流の場として活動を行う。特に近年応募者数が増加傾向にあるジュニアの部の充実を図る

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 図書館	担当課長名	加藤隆一
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	図書館・石橋プラザ管理運営事業	(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5031	19	
財務会計上の事業名	図書館管理事業/運営事業	財務会計上の短縮番号	管理 6780 運営 6785		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象【誰(何)を】	市民、市内在勤・在学者、豊能地区広域利用者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	資料(図書、雑誌、視聴覚資料)の貸出、レファレンス、視聴覚サービス、障がい者サービス
事業の目的【どのような結果を得るか】	地域の情報拠点として、市民への情報提供及び学習や読書機会づくり
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	図書館システムを入れ替えて市民に便利な機能を追加し、利便性を図った。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	地域の情報拠点として、市民への情報提供及び学習や読書機会づくり

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	54,678		44,706		44,419		45,300		99.4%
人件費(人・千円)	22.20	97,460	21.20	95,760	19.18	84,204	26.77	100,636	90.5%	
事業コスト等	内 正職員	5.80	46,400	6.80	53,040	5.78	45,084	4.77	37,206	85.0%
	再任用短時間勤務職員	5.00	18,000	3.00	10,800	2.00	7,200	2.90	10,440	66.7%
	任期付短時間勤務職員	11.40	33,060	11.40	31,920	11.40	31,920	17.10	49,590	100.0%
	非常勤職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
	アルバイト	0.00	0	0.00	0	0.00	0	2.00	3,400	-
支 出 合 計 A	152,138		140,466		128,623		145,936		91.6%	
財 源	国・府支出金	7,200								-
	受益者負担 B									-
	その他財源	730		622		731		850		117.5%
	一般財源	144,208		139,844		127,892		145,086		91.5%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	蔵書冊数	冊	297,729	302,664	315,869	325,000	325,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	貸出冊数	冊	482,357	464,873	460,097	470,000	470,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	レファレンス件数	件	380	523	412	550	550
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	来館者総数	人	209,252	219,191	221,791	230,000	230,000

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	貸出冊数の減少が続いており、改善のため移動図書館車の運行日程の見直し、行事等の取組みを行うなど利用の促進に努める。また、資料やホームページ等の充実を図り、市民の課題解決のための支援を行う。

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	図書館の指定管理者制度の導入については、平成26年2月に図書館協議会より時期尚早との答申を得た。今後はこの答申を尊重し、慎重に議論する必要がある。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
昨年度の図書館システムの更新、本年4月の図書コーナーの開設とハード面は改善されており、今後は内容面の充実が課題である。図書館は課題解決を支援するサービスに重点を置いており、商用データベースの導入、市民への情報提供の方法など更に検討が必要。 本館、石橋プラザ、図書コーナー、池田駅前サービスポイント、移動図書館のそれぞれの特徴を活かしながら、連携を図る必要がある。	今後の図書館運営は住民の課題解決を支援するサービスを重点とし、そのためには商用データベースの導入検討等、さまざまな方法で情報が取得できる環境整備が必要である。また、中央公民館図書コーナーの開設により、本館、石橋プラザ、駅前サービスポイント及び公民館がお互い連携を取り合い、利用者サービスの充実を図る必要がある。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 図書館	担当課長名	加藤隆一
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	図書館・石橋プラザ管理運営事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	19	
財務会計上の事業名	サービスポイント設置事業	財務会計上の短縮番号	6800		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (                      ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (                      )				
事業の対象 【誰(何)を】	市民、市内在勤・在学者、豊能地区広域利用者				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	予約本の受取りと本の返却ができる池田駅前サービスポイントを駅構内に設置(H21.6月～)				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	図書館(本館)が市の中心部から遠く、かつ坂の上にあることによる来館の困難を解消				
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 時 限 (平成21年度～平成26年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 25年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入	図書館法第10条/池田市図書館条例及び池田市図書館条例施行規則				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	1,332		1,332		1,332		1,371		100.0%
人件費(人・千円)	0.80	3,340	0.80	3,240	0.82	3,396	1.23	4,764	102.5%	
事業内訳	正職員	0.20	1,600	0.20	1,560	0.22	1,716	0.23	1,794	110.0%
	再任用短時間勤務職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.10	360	-
	任期付短時間勤務職員	0.60	1,740	0.60	1,680	0.60	1,680	0.90	2,610	100.0%
	非常勤職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
	アルバイト	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
支出合計 A	4,672		4,572		4,728		6,135		103.4%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	4,672		4,572		4,728		6,135		103.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	貸出冊数	冊	21,473	22,660	21,299	27,000	27,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	貸出人数	人	14,354	15,157	14,261	18,600	18,600
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	返却冊数	冊	34,342	36,015	35,036	45,100	45,100
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	H26年4月中央公民館1階に図書コーナーが開設し、サービスポイント設置の目的を代替え出来るため、H27年3月をもって廃止の予定。				
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	開設当初より、いけだ市民文化振興財団に委託。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
図書コーナーと駅前サービスポイントは利用対象が重なっており、駅前サービスポイントを廃止しても図書コーナーで十分カバーできるものと考え。よってH26年度末での廃止が妥当と判断する。	駅前サービスポイントは市民に十分認知され、その必要性は高いものとする。平成26年4月の中央公民館図書コーナー開設後は、利用状況を見ながら事業内容の見直しや改善を考える必要がある。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 石橋プラザ	担当課長名	東本正治
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	図書館・石橋プラザ管理運営事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5031	19	
財務会計上の事業名	石橋プラザ管理事業/運営事業	財務会計上の短縮番号	6790/6795		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (                      ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (                      )
事業の対象 【誰(何)を】	市民、市内在勤・在学者、一部隣接市市民、豊能地区広域利用者
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	図書館の個人(団体)貸出、レファレンス、行事活動
事業の目的 【どのような結果を得るか】	利用者への情報や学習機会の提供及び読書環境づくり
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成10年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	図書館法第10条/池田市立図書館条例及び池田市立図書館条例施行規則

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	33,559		33,675		33,483		33,065		99.4%
人件費(人・千円)	7.64	29,970	7.20	27,100	7.20	27,100	5.97	24,668	100.0%	
事業コスト等 内訳	正職員	1.34	10,720	1.35	10,530	1.35	10,530	1.50	11,700	100.0%
	再任用短時間勤務職員	1.40	5,040	0.65	2,340	0.65	2,340	0.35	1,260	100.0%
	任期付短時間勤務職員	4.90	14,210	4.90	13,720	4.90	13,720	3.92	11,368	100.0%
	非常勤職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
	アルバイト	0.00	0	0.30	510	0.30	510	0.20	340	100.0%
支出合計 A	63,529		60,775		60,583		57,733		99.7%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	40		31		36		35		116.1%
	一般財源	63,489		60,744		60,547		57,698		99.7%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	蔵書冊数	冊	39,547	41,122	42,042	42,500	42,500
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	貸出冊数	冊	219,296	210,240	204,095	205,000	210,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	来館者数	人	131,119	127,948	129,408	130,000	130,000
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	行事参加人数	人	517	494	877	900	900

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	定期開催の行事に加え市民参加型の行事企画など新たな取組みを行ったところ、来館者及び行事参加人数の増加にみられるように図書館利用の促進に繋がった。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	経費削減に加え、図書館経営のノウハウを熟知した業者によるサービスの向上や、民間ならではの事業展開が見込まれるのであれば可能である。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各種行事を通して市民が集い、触れ合う図書館づくりに着手したところであるが、今後は更なる内容の充実を図るとともに、それらが図書館を拠点とした市民活動に繋がるような事業展開が必要。	本の貸出だけに留まらず、子どもから大人まで、市民の読書活動支援となるような新たな行事の企画を検討する。またそのようなイベントを通じて市民が図書館で交流し、活動を広げることができる場づくりに努める。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	市民スポーツ振興事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5032	1	
財務会計上の事業名	市民スポーツ振興事業	財務会計上の短縮番号	7230		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	一般市民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	本市におけるスポーツ関係団体の連携と調整を図り、生涯スポーツの普及、振興に寄与するとともに、市民の健康と「元気な池田」を創造するために各種事業を展開する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	スポーツの振興を通して「スポーツのまち池田」の推進を図ると共にジュニア世代のスポーツ活動の推進、指導者の育成・資質の向上を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 17年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実 施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第5条(スポーツ団体の努力)、第21条(地域におけるスポーツ振興のための事業への支援等)、第22条(スポーツ行事の実施及び奨励)

## 2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	1,800		1,800		1,549		1,800		86.1%
人件費(人・千円)	0.13	1,040	0.13	1,014	0.16	1,248	0.09	702	123.1%	
内 訳	正職員	0.13	1,040	0.13	1,014	0.16	1,248	0.09	702	123.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,840		2,814		2,797		2,502		99.4%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,840		2,814		2,797		2,502		99.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業数	大会等	46	45	39	40	40
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加延べ人数	人	34,973	38,246	33,405	40,000	40,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	市民の体育、スポーツの振興の中核である市民スポーツ振興協議会の活動を支援することは、市民の健全な心身の発達と明るい豊かな健康づくりと町づくりに必要である。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	教育委員会との共催事業として池田市体育連盟等体育団体が主体となって事業をすすめている。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
今後も、引き続き市民スポーツ振興協議会の活動を支援し、スポーツを通して市民の健全な心身の発達と明るい健康づくり等を継続する。	今後も、引き続き市民スポーツ振興協議会の活動を支援し、スポーツを通して市民の健全な心身の発達と明るい健康づくり等を継続する。また、ジュニア世代の育成を視野に入れた団体活性化も必要である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	地域スポーツ振興事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5032	2	
財務会計上の事業名	地域スポーツ振興事業	財務会計上の短縮番号	7235		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象【誰(何)を】	市民(小学校区住民)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	地域住民のスポーツレクリエーション活動を活発にするとともに、この活動を通じて住民の健康づくりとコミュニティづくりを推進する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	ファミリー型スポーツレクリエーション活動の定着
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和55年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第21条(地域におけるスポーツ振興のための事業への支援等)、第22条(スポーツ行事の実施及び奨励)

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	330		330		330		1,530		100.0%
人件費(人・千円)	0.13	1,040	0.10	780	0.10	780	0.10	780	100.0%	
事業コスト等	内訳	0.13	1,040	0.10	780	0.10	780	0.10	780	100.0%
	正職員									
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
アルバイト		0		0		0		0	-	
支出合計 A	1,370		1,110		1,110		2,310		100.0%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	1,370		1,110		1,110		2,310		100.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育委員会主催事業数	件	19	19	16	20	20
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育委員会主催事業参加人数	人	817	814	585	800	800
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	地域住民を対象に、住民ニーズに応じたスポーツ活動を展開し、健康体力づくりと併せて地域コミュニティの育成が図られる。
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	地域スポーツの振興については、校区ごとにスポーツ推進委員や学校開放運営委員会、スポーツ振興会が担っている。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
気軽に、いつでも、だれでもスポーツに参加できる機会と場を提供し、住民の健康づくりを図り、校区ごとにスポーツ推進委員や学校開放運営委員会、スポーツ振興会が担い、住民ニーズに応じたスポーツ活動を展開しているため、今後も継続が必要。	気軽に、いつでも、だれでもスポーツに参加できる機会と場を提供し、地域コミュニティの活性化と住民の健康づくりを図るとともに今後もPRに努める。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	障がい児(者)スポーツ活動促進事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5032	3	
財務会計上の事業名	障がい児(者)スポーツ活動推進事業	財務会計上の短縮番号	7225		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象 【誰(何)を】	市民(障がいのある子供たち)				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	障がい児(者)を対象にスポーツ活動の機会を提供する。				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	障がいのある子どもたち(就学前～青年期)の機能回復とコミュニケーションの形成を図るとともに余暇時間の利用を促進し、社会参加の礎とする。健康維持増進、参加者相互の親睦と交流を図る。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念) 第22条(スポーツ行事の実施及び奨励)				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	100		100		100		100		100.0%
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,340	0.29	2,262	0.27	2,106	96.7%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.29	2,262	0.27	2,106	96.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,500		2,440		2,362		2,206		96.8%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,500	2,440	2,362	2,206	96.8%				
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	参加申込人数	人	101	90	92	90	90
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者延べ人数	人	2,020	1,800	1,660	2,000	2,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	スポーツ教室は障がいのある子どもたちを対象としており、機能回復とスポーツを楽しむきっかけとなっている。また、教室の子どもたちが、よりスポーツに親しんだり、発達相談をする場の提供としても必要である。				
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	教室の運営については、すでに団体の自主活動に委ねている。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
障がい者スポーツの普及、振興において、「障がいの種類や程度に合わせた事業」を実施している関係部署との連携や障がいをもつ子ども・親が参加できるようなPRが必要。	障がい者スポーツの普及、振興において、「障がいの種類や程度に合わせた事業」を実施している関係部署との連携が図られるように努めることが必要。また、障がいをもつ子ども・親が参加できるようにPRしていく必要がある。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	ジュニアスポーツ育成事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5032	4	
財務会計上の事業名	ジュニアスポーツ育成事業	財務会計上の短縮番号	7272		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )				
事業の対象 【誰(何)を】	市民(青少年)及び指導者				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	池田市体育連盟がスポーツ人口の拡大を目指すジュニアスポーツの育成事業に対して支援していく。				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	子どもたちの心と体を健やかに育て、楽しくスポーツを続けられるよう指導者の育成や子どもたちの加入を促進し、スポーツ人口を拡大を図ることにより、本市のスポーツの振興の礎とする。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 23年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第11条(指導者等の育成)				

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	200		200		50		50		25.0%
人件費(人・千円)	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	0.12	936	100.0%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	0.12	936	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	1,400		1,370		1,220		986		89.1%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,400		1,370		1,220		986	89.1%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	実施団体数	団体	8	-	-	-	-
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	899	144	164	170	170
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	講演会開催回数	回	-	1	1	-	-
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	講演会参加者数	人	-	249	58	-	-

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	24年・25年度に指導者育成のために研修を行い、ジュニアスポーツをクラブ組織化し、団体生活及び身体の鍛錬と技術の向上に努めているところ。平成26年度から市民スポーツ振興事業に統合。				
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	環境整備や講習会などは池田市体育連盟に委ねている。				

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
指導者育成のため、2年間研修を行い、育成強化を図った。今後は、指導者の高齢化が懸念される。	子どものおかれた環境や社会問題等の状況を踏まえ、そこから導き出される課題に応える指導者育成が必要。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	池田猪名川マラソン大会開催事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5032	5	
財務会計上の事業名	池田猪名川マラソン大会開催事業	財務会計上の短縮番号	6172		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	小学生以上の申込者
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	池田市体育連盟が中心に、他のスポーツ関係団体と実行委員会を組織し、大会運営をしている。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	春のスポーツフェスティバルの一環事業として、誰もが完走できることを目的に、幅広い地域より参加者を募り、池田市のスポーツイベントとして実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和29年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第5条(スポーツ団体の努力)、第21条(地域におけるスポーツ振興のための事業への支援等)、第22条(スポーツ行事の実施及び奨励)

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	120		120		100		100		83.3%
人件費(人・千円)	0.27	2,160	0.24	1,872	0.24	1,872	0.24	1,872	100.0%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.27	2,160	0.24	1,872	0.24	1,872	0.24	1,872	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,280		1,992		1,972		1,972		99.0%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,280		1,992		1,972		1,972		99.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	競技種目数	種別	25	25	25	25	25
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者人数	人	1,420	1,429	1,631	1,600	1,600
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	募集人員の1,000人を超えるようになり順調に定着した。 平成26年度から市民スポーツ振興事業に統合。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	池田猪名川マラソン大会実行委員会が事業を主催しており、今後も本市との連携強化を図る中で、スポーツ振興を推進する必要がある。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
年々参加者が増加傾向にあり、需要が高いと判断され、今後も継続していく事業と考えるが、更なるPRをする必要がある。	年々参加者が増加傾向にあり、需要が高いと判断され、今後も継続していく事業と考えるが、参加者の安全管理については今以上の対策が必要である。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	卓球のまちづくり事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	5032	6	
財務会計上の事業名	卓球のまちづくり事業	財務会計上の短縮番号	7260		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象【誰(何)を】	市民・卓球愛好家
事業の手段【どうする(させる)ことで】	卓球のまち池田推進委員会を設立し、その中で実行委員会が中心となり、卓球関係団体等の協力を得て各種事業を実施している。
事業の目的【どのような結果を得るか】	卓球を通じて、子どもから高齢者まで、気軽にだれでも楽しめる生涯スポーツの1つとして「卓球のまち池田」の推進を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成13年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第5条(スポーツ団体の努力)、第21条(地域におけるスポーツ振興のための事業への支援等)

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
事業費(千円)	970		1,189		622		1,000		52.3%	
人件費(人・千円)	0.29	2,320	0.29	2,262	0.17	1,326	0.13	1,014	58.6%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.29	2,320	0.29	2,262	0.17	1,326	0.13	1,014	58.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	3,290		3,451		1,948		2,014		56.4%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	3,290		3,451		1,948		2,014		56.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	卓球イベント数	回	3	4	3	3	3
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加人数	人	489	557	341	500	500
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	卓球のまちづくりの観点から意義のあるものである。いままでも様々な切り口で内容を検討し、参加者に楽しんでもらっている。

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	各種イベントについては、「卓球のまち池田」推進委員会に委託している。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
地域での卓球講習会の回数を増やし、池田市の子どもから高齢者までが、身近にピンポンに触れる機会をふやす事業で、誰もが安全に楽しめる生涯スポーツとして継続する必要がある。	池田市の子どもから高齢者までが、身近にピンポンに触れる機会をふやす事業で、誰もが安全に楽しめる生涯スポーツとして進めていく必要がある。したがって、ピンポン祭りをやめて、地域での卓球講習会の回数を増やす。

# 事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	社会教育の振興	担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上 雅則
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	学校体育施設開放事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	5032	8	
財務会計上の事業名	学校体育施設開放事業	財務会計上の短縮番号	7205		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

## 1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 (    ) <input type="checkbox"/> 企業会計 (    )
事業の対象 【誰(何)を】	地域住民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	学校教育上支障のない範囲で地域住民に学校教育施設(市立小学校の体育施設)を開放する。管理指導員は当該学校職員・スポーツ推進委員・校区スポーツ関係者より選出し、開放時の管理をする。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	地域スポーツ振興の拠点とし、スポーツ活動を通じて健康づくりやコミュニティづくりに務める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和53年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成    年度~平成    年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	スポーツ基本法第2条(基本理念)、第13条(学校施設の利用)、第21条(地域におけるスポーツ振興のための事業への支援等)、第22条(スポーツ行事の実施及び奨励)

## 2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	1,377		1,384		1,417		1,418		102.4%
人件費(人・千円)	0.15	1,200	0.14	1,092	0.10	780	0.08	624	71.4%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.15	1,200	0.14	1,092	0.10	780	0.08	624	71.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,577		2,476		2,197		2,042		88.7%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,577	2,476	2,197	2,042	88.7%				
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	開放可能回(60回を100%とする)	%	97	98	97	98	98
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	延べ参加人数	人	25,603	28,120	27,804	28,000	28,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	地域住民が身近で手軽にスポーツを楽しむことができる施設となっており、地域スポーツの振興、市民の健康づくりに大きな効果がある。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	学校開放事業については、各校区の開放運営委員会に委ねている。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
地域住民に、身近なスポーツ活動の場を提供することは健康づくりや地域コミュニティづくりに不可欠な事業であり、今後も継続して体育館・運動場の活用を図る。	地域住民に、身近なスポーツ活動の場を提供することは健康づくりや地域コミュニティづくりに不可欠な事業であり、今後も継続して体育館・運動場の活用を図る。